

そもそも「URC」レコードとは何か？「URC」はアングラレコードクラブの略称で1969年にスタートし、1970年代の関西フォーク&ロックを中心にミュージック・シーンを率いた音楽家たちによって運営された、インディーズレーベルのことです。加藤和彦と北山修率いるフォーククルセダーズの「イムジン河」、同志社大学神学部に通っていたフォークの神様・岡林信康の「わたしを断罪せよ」「見る前に跳べ」、西岡たかしと藤原秀子の五つの赤い風船と高田渡の両面カップリングLP、大滝詠一・鈴木茂・細野晴臣・松本隆という今考えても凄すぎる「はっぴいえんど」、早川義雄の伝説のファーストアルバム「かつていいことは何てかつて悪いだろう」、その早川率いるジャックスの前身でもある「休みの国」などの曲は、今聴いても新しくカッコいい。他にも遠藤賢二、斉藤哲夫、加川良、中川五郎、友部正人、三上寛などの傑作アルバムが揃っています。そして瓢箪から駒、灯台もと暗しのたとえ通り、堺町画廊オーナーの伏原納知子さんは、アングラレコードクラブの会員であったことが判明し、いつか「URC」レコードを聴く会をしましょう、とお話してからずいぶん経ちました。

ということで、2月12日(日)に満を持して、「URC」レコードの流れる喫茶店を堺町画廊で開くことになりました。珈琲は**佳苗珈琲焙煎**、お菓子は**カイラスセイカ**の堺町画廊ではおなじみのコンビがお店でお待ちしております。ぜひこの機会に「URC」レコードの世界にズッポリ浸ってみませんか。堺町画廊に70年代の空気が蘇ることでしょう。気分は70年代！

当日で用意したレコードあれこれ

●LP版
高田渡／五つの赤い風船
六文銭／中川五郎
休みの国／岡林信康
世界のプロテスト・ソング
第4回フォークキャンプコンサート（円山野外音楽堂）

●EP版
イムジン河／リムジンガン
MBS 報道部の南ベトナムでの取材テープ
岡林信康
高田渡
西岡たかし
中川砂人
藤原秀子
ザ・ムッシュ
赤い鳥
西岡たかし

一日喫茶「URC」 開店のお知らせ。

日時：2017年2月12日(日)
12:00～18:00

会場：堺町画廊

協力：上野昌人（「URC」レコードと新譜ジャーナルで育った編集者）